

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所 ほどはら授産所

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 Tel/fax 024-575-4355

## 3月の主な行事

- 3月3日(月) 誕生会・ひな祭りのつどい
- 6日(木) 内科健診
- 7日(金) 工賃支給日
- 8日(土) 土曜利用日
- 31日(月) 年度末期末手当支給日

## 3月誕生月 おめでとうございます

佐藤静香さん 畠海就さん 松浦広貴さん  
誕生月のみなさん おめでとうございます。  
誕生会は3月3日に行います。お楽しみに！

# 福豆を配る！



心を込めて豆の封入作業をする利用者さん



興国寺ご住職様に本堂でご祈祷いただきました

「福豆」を受け取る利用者さん㊦

1月31日、節分を前にほどはら授産所謹製「福豆」の贈呈を帰りの会の中で行いました。この豆は、昨年春に農耕園芸班の皆さんが当所の実習農園に落花生の苗を試験的に植えて育てたもので、昨年暮れに収穫を行い、土取りして自然乾燥をさせ袋詰めにしたものです。この日は中木所長から一人ひとりご家庭にお持ち帰りいただき、節分に自宅でもいてもらうようお渡ししました。福豆をいただいた利用者さんらは、農耕園芸班の皆さんに感謝し、御礼の拍手を贈りました。

この「福豆」は、1月29日梁川町にある曹洞宗臥龍山興国寺ご住職様にご祈祷いただいた縁起の良い豆です。だての郷の利用者さんにもお配りしました。次年度は商品化でできるようにさらに増産を計画しています。

# 鬼を退治し 福招く



2月3日、節分の翌日になりましたがこの日、ほどはら授産所で「節分のつどい」を行いました。当日は午前の作業を早めに切り上げ、午前11時半、食堂に集まって集いを持ちました。はじめに開会のことばを佐藤修二さんが務め、中木所長からあいさつがあり、季節を分ける節分は年4回あることや、春の節分が年の初めで大事で、鬼が季節の変わり目にやって来るので退治するようになったことなど、節分のお話がありました。そのあと3人の鬼が食堂の外の出入り口から現れ、今年の年男、小林陽平さん、年女の菅野カツヨさん、高橋友美さん、佐藤静香さんが、鬼めがけて豆をまき鬼を退治しました。今年は、ほどはら授産所謹製「福豆」をまきました。

豆まきを終えた後は、すし竹さんからご寄付いただいた「節分のお寿司」の会食タイムです。すし竹様に感謝しながら、利用者さんたちは美味しそうにいただきました。そして閉会のことばを佐々木仁志さんが述べ、お開きとなりました。



鬼めがけて豆をぶつける年女、高橋友美さんと菅野カツヨさん（写真④の二人）



今年も3人の鬼が登場



美味しそうにお寿司をいただく利用者さんたち



美味しそうにお寿司をいただく利用者さんたち



## 様からお寿司寄贈受ける



大竹社長さん④からお寿司を受け取る両施設利用者代表の皆さん

2月3日の節分の集いに合わせて、今年もお寿司のテイクアウトで人気があるすし竹様から、節分のお寿司のご寄付をいただきました。

当日は、だての郷ロビーで贈呈式が行われ、ほどはら授産所から利用者代表の菅野カツヨさんと高橋友美さん、だての郷から利用者代表の浅野恵美さん、佐藤潤さんが出席し、すし竹代表取締役社長大竹進二さんからお寿司の贈呈がありました。毎年ご寄付いただいておりますこと、この紙面を借り、すし竹様に厚く御礼を申し上げます。

(その御礼に、2月20日、すし竹赤橋店に利用者さんの代表が伺いました。8ページに関連記事)

### 番外

#### 食育コラム

#### 花粉シーズン到来 食の観点からの予防対策

#### 花粉から身を守る

#### 3つのないが大事です

「吸い込まない」「寄せ付けない」  
「持ち込まない」

#### 症状を悪化させないために

#### 免疫力を高めましょう。

◎免疫力アップが期待できる食べ物

➡肉・魚・卵・大豆製品・乳製品などの良質なたんぱく質。

➡緑茶・ココア・赤ワイン・そば・野菜・果物に含まれるポリフェノール（抗酸化物質）。

➡緑黄色野菜のビタミン類。

➡きのこ等の食物繊維。納豆・漬物・ヨーグルト・みそ・しょうゆ等の発酵食品（腸内環境を整える）

いずれもバランス良く栄養を摂取する事が大事です。十分な睡眠と適度な運動、ストレスを溜めないことも大切です。免疫力をアップさせ、花粉症の活動的なシーズンに備えましょう。

# ほどはら授産所作業班 この1年 2024.4-25.3

令和6年度作業班の活動を報告します。  
利用者の皆さん、お疲れ様でした。

## 農耕園芸班



水やり作業をする利用者さん



大型ハウスで出荷を待つ花苗



花苗ポット再利用のため、きれいに磨く利用者さんたち



農耕園芸班の皆さん



出荷のため荷揚げする利用者さんたち



花市ウィークでお客様のお手  
伝いをする利用者さん⑥



配達した花苗

今年度も農耕園芸班の利用者の皆様にはケガもなく活動ができ、多くのお客様にご注文いただき納品ができましたこと、利用者様・保護者様・各関係者の皆様に感謝申し上げます。

この一年、花の植え替えや納品の準備、夏の猛暑の中でもスムーズな動きといろいろな面で、春から佐藤事務長より引継ぎをした私に気さくに話しかけてくれる利用者の皆様に助けられた一年だったように思います。今年は内輪だけでしたが、あぶくま祭りも開催することができました。春と秋のほどはら花市ウィークをはじめ市役所での販売会の参加等で、利用者さんがたくさんのお客様とのふれあいや販売をとおして、私どもの活動している様子を見ていただいたことは、たいへんよかったと思います。

来年度は今年以上に利用者様の健康・安全を優先し事故等に注意しながら、品質の良い花苗栽培を目指して参りたいと思いますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。利用者の皆様1年間ご苦労様でした。

(担当：職業指導員 松浦幹樹)

# リサイクル班



ベッドの手すりの洗浄作業をする利用者さん



AEDパッドの分解作業をする利用者さん



精密機器の部品を分解する作業をする利用者さん



リサイクル班の皆さん



今年度リサイクル班では、電子部品を解体、分別するリサイクル作業と介護用ベッドの洗浄作業を行ってきました。どちらの作業も途切れず安定した量を請け負えました。特にテレビやパソコン等の電気回線、大規模施設の配電等に使用される銅線の需要が伸びた影響で、銅線コード関連の作業が多くなりました。新たに心肺蘇生装置「AED」のパッド解体には年間を通して取り組み、作業に慣れ作業工程を覚えめました。また、分業し協力して作業を進めることで効率よく作業を進められていました。

介護用ベッドの洗浄作業でも慎重に汚れを見付けては擦り落とし、次に利用される方に気持ちよくお使いいただけるよう丁寧な作業を行えました。

リサイクル班のメンバーは、丁寧さと手早さを意識し少しでも多くの作業をこなせるよう頑張ってきました。1年間作業お疲れ様でした。

(担当：次長 鈴木信行)

# 手工芸班



フルーツキャップ折り作業をする利用者さん



刺し子布巾づくりをする利用者さん



手工芸班の皆さん



旅館タオルの袋詰め作業をする利用者さん

今年度の手工芸班は、フルーツキャップのネット折り畳み作業が新たに加わりました。タオルと刺し子の作業の場合、仕上げ作業に時間がかかり、利用者さんには次の作業に移るための時間も必要でしたが、フルーツキャップの作業が加わったことによりその時間がなく作業に取り組むことが出来、就労収入も増え、うれしく思います。

手工芸班の皆さんは、どんな作業に対しても意欲満々です。フルーツキャップ折りの作業が入り「楽しい」と、さらに意欲的に作業を行っています。それに加えて、タオルの作業も順調に入るようになりました。時には班の枠を超え、段ボール班やリサイクル班の作業の手伝いもしています。

利用者さん一人一人の性格に合わせて取り組みやすい作業、楽しく、そして能率よく作業が出来るよう配慮していきたいと思っております。まだまだ、コロナウィルスの影響を受け作業に制約がかかる事も懸念されますが、新規作業や班の枠を超えた作業を班の皆さんで協力しながら頑張っていきたいと思っております。

ご家族の皆様には、今まで同様利用者の皆さんの成長を暖かく見守っていただければと思います。今年度もお世話になり、ありがとうございました。令和7年度もよろしくお願いたします。  
(担当：生活支援員 菅野富江)

# 段ボール班



ボンドをつけて箱作りをする利用者さん



段ボール班のメンバー



仕切り組作業をする利用者さん



緩衝材づくりをする利用者さん



納品直前 出来上がったダンボール箱



梱包した製品の荷揚げはフォークリフトで

段ボール班のみなさん、一年間大変お疲れさまでした。今年度も大きな病気やケガもなく健康で一年の作業を頑張ることができました。

今年度も物価高騰のあおりを受け、流通業界への大きな影響が依然として続いており、注文も少なくなっています。注文のない日が続いたと思えば、急な注文が突然舞い込むという状況もありました。逆に注文が少ない時はみんなで少ない製品を分け合って協力して乗り切ることができました。このように大変波のある作業状況ですが、みなさんやる気に満ち溢れており、今後もこの気持ちを忘れずに作業に従事していただければと思います。

また、今年度も伊達市保原町工業団地にあります「王子コンテナ株式会社福島工場」様と桑折町にあります「吉川紙業株式会社」様のご協力のもと、利用者の皆さんの特性に合わせながら、仕事に取り組むことができました。また、今まで行っていた段ボールの仕切り組立の注文がない日が続くことがあり、王子コンテナ様から利用者の皆さんができる新しい仕事をご提案いただき、少しでも皆さんの工賃アップにつなげていけるよう来年度も頑張っていきたいと思っております。一年間ありがとうございました。 (担当：職業指導員 熊坂正俊)

# すし竹赤橋店様へ 御礼に伺う



大橋社長さん（中央）に御礼メッセージをお届けした利用者代表の皆さん 左は鈴木店長さん

## 手工芸班 針供養行っ



お豆腐に針を刺し供養する手工芸班の皆さん

ほどはら授産所の手工芸班の皆さんが、この一年間の針に感謝し、針供養を行いました。

これは、日頃手工芸班の皆さんが刺し子布巾を製作する際、針と糸を使って作業をしており、一年間お世話になった針に感謝する心を表すために行いました。

この日、手工芸班の皆さんは食堂に集まり、御礼の気持ちを使い終えた縫い針や待ち針に託し、お豆腐に刺して針を供養しました。

昨年再開し1年振りに針供養を行い、手工芸班の皆さんは少し緊張気味でしたが、伝統行事の一端に触れることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

2月20日、ほどはら授産所の熊坂友輔さんと古山みき子さん、だての郷の渡辺祥江さんが担当職員と一緒に、節分の際、施設へお寿司のご寄付をいただいた有限会社すし竹赤橋店へ、御礼に伺いました。

3人の代表者さんたちは、赤橋店に出向き大竹社長さんと店長の鈴木さんに、中木理事長のお礼状と、両施設の利用者さんが作った御礼のメッセージプレートをお届けしました。大竹社長さんから「皆様からの感謝のことは、ありがとうございました。来年もお届けしますので、楽しみにお待ちしております」と御礼のことはいただきました。

**編集後記** 令和6年度の年度末を迎えました。振り返るとあぶくま福祉会においては、6月末に理事長、9月末に業務執行理事がそれぞれ退任、年度後半新しい体制で始動し、それに連動し職員の人事異動を行い、相談支援事業所の廃止等もあり、大きく変革した年度になりました。また、皆様のご支援・ご協力をいただき、あぶくま祭を再開させることもできました。改めて感謝申し上げます▼新型コロナウイルス感染症は分類5類になって2年が経過し、社会全体がコロナ前に近くなりました。当施設でも外出行事を少しずつ再開しました。まだ油断はできませんので引き続きマスク着用、手洗いうがいはみんなの合言葉です▼節分の集いに際し、すし竹様から今年もお寿司をいただきました。毎年利用者さんたちは楽しみにしており、美味しくいただくことができました。改めてすし竹様に御礼を申し上げます▼現在、新年度に向け事業計画案と予算案の編成がほぼ固まり、厳しい財政の中、充実した就労支援活動ができるよう作業を進めています。事業と予算は今月開く理事会、評議員会で議決を受けることになっています▼上中瀬町町内会の皆様には会員に加えていただき、ありがとうございました。会長さんと班長さんには当所広報を配付いただき御礼申し上げます。▼結びに、令和6年度ほどはら通信を1年間お読みいただき、ありがとうございました。施設と保護者の皆様、地域の皆様をつなぐ架け橋として、新年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。(M)

### ほどはら授産所 授産品 トイレットペーパー 販売中

シングル・150mの芯なしトイレットペーパー

価格1ヶ96円 (消費税込105.60円)

手工芸班の皆さんが包装作業をしています。お買い求めは、ほどはら授産所でどうぞ。配達もいたします。ご注文お待ちしております。(575-4355)

